

中央大学支部 中大技術士会

ニュースレターvol.35

会員の皆様へ

梅雨の中、蒸し暑い日々が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

本ニュースレターを編集している最中にも、大変ショッキングな報道がありました。九州豪雨災害です。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

もともと梅雨といえば「しとしと」という言葉が当てはまりました。しかし、ここ近年は毎年のように梅雨の時期、“観測史上最大級の”という大雨が発生しております。これも気象変動の影響でしょうか？何かの形で我々技術士が関わる機会も多くなりそうです。

さて、このニュースレターは、会員相互の情報交換を目的に、会の活動内容や会員個人の様々な活動などについてお知らせするものです。本号では2017年4月～6月の活動内容、第13回定時総会のご報告、今後の活動計画のほか会員のエッセイなどをお届けします。

おかげさまで卒業生はもちろんのこと、最近は現役学生の一次試験合格者の会員も増え、当会の会員は400名を超えました。活動も年々活発になっています。是非、ご参加いただき中大技術士会のネットワークを日々の活動にもお役立て下さい。それではニュースレターをお楽しみください。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
■ 「ホームカミングデーと理工白門祭に参加しませんか」 中大技術士会副会長 武安真児さん（情報工学部門・総合技術監理部門）	2 ページ
活動報告	3 ページ
■ 大学院理工学研究科 都市人間環境学専攻 設立記念式典参加	3 ページ
■ 第13回定時総会	4 ページ
■ 平成29年度技術士第一次試験ガイダンス	6 ページ
■ 幹事会	7 ページ
■ 部会報告	8 ページ
■ CO2 環境対策技術研究会報告	9 ページ
活動計画	10 ページ
■ 活動計画全般	10 ページ
■ CO2 環境対策技術研究会活動計画	11 ページ
エッセイ	11 ページ
■ 男声合唱：金川 護さん（上下水道部門、総合技術監理部門）	11 ページ
■ ブラジル珍道中回想録(Part1)：山下 三雄さん（建設部門、総合技術監理部門）	12 ページ
■ 受験対策が進んでいます：坂林 和重さん（電気電子部門）	14 ページ
お知らせ	17 ページ
■ これから技術士を目指す方、技術士第一次試験合格者の方、学生の皆さんへ	17 ページ

■ 「ホームカミングデーと理工白門祭に参加しませんか」:

武安 真児さん(情報工学・総合技術監理部門)

7 月になり、暑くはじめとした季節になりましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。この時期は、ホームカミングデーと理工白門祭の準備が始まる時期ですので、今回はこれらについてご説明したいと思います。

ホームカミングデーは 10 月、理工白門祭は 11 月開催なので、まだ先のことでピント来ない方も多いと思いますが、参加申込みがそれぞれ 6 月と 7 月のため、参加内容を決めなければならない時期になっています。

ホームカミングデーは、卒業生が母校に集まり、幅広く交流を行う場として毎年多摩キャンパスにて開催されていて、今年は 10 月 22 日に開催され、中大技術士会は今年で 9 回目の出展となります。



出展場所は、ペデストリアンデッキ上の「無料相談コーナー」に、法曹会、会計人会、不動産鑑定士会などと並んでテントを設けて出展しています。ただし、中大技術士会以外は、文系の学部をベースとする支部ですので、中大技術士会としては多少アウェイ感がありますが、一方で理工学部を文系学部の卒業生に宣伝する良い機会でもあります。

理工学部の卒業生にとっては、多摩キャンパスそのものが縁遠いため、懐かしいということもなく、参加者も少ない現状がありますが、もし多くの理工学部の卒業生が参加されて、中大技術士会のブースが賑わってくれば、理工学部の存在が見直される機会になると思いますので、ホームカミングデーに参加されて、中大技術士会ブースに立ち寄っていただきたいと思います。

さて、理工白門祭に話を移しますが、理工白門祭に中大技術士会が出展するようになったのは、2007 年からで、今年で 11 回目の出展となります。

参加当初は、「技術士」という名前を理工白門祭に来られた学内外の方に知ってもらうというのが第一の目的でしたが、その後中大技術士会・大学支援部会を中心とした大学内での活発な活動により、在学生への「技術士」の知名度が上がってきて、現在では、学外からの来校者への「技術士」資格の広報や、学内の資格保持者への入会をお誘いするような活動へと移行しています。

理工白門祭は、学内の学生が参加することが基本となっているため、学内にいない人間から見るといろいろと面倒で、例えば、出展説明会の広報はツイッターで行われるため理工白門祭実行委員会のツイッターを常に確認しなければなりませんし、事務手続もメール等は使えず、直接白門祭実行委員会の部屋に書類持って行く必要があります。さらに出展時には、展示で使うテーブル・椅子・パネル等も学生の中に混じって自分達で取りに行かなければなりません。

最近の理工白門祭を見ると、学生のお祭りのイメージからだんだん離れてきているようにも思えます。特に、飲食を提供する屋台の数が減っていて、さみしい気がします。衛生管理が毎年厳しくなっていることもあるのですが、面倒なことを避ける傾向にあるのかもしれませんが。逆に活発になっているのが研究室企画で、学内の研究室でどのような研究を行っているのかを公開する良い機会になっていて、各研究室が学部 3 年生を勧誘する場にもなっているようです。

これは、卒業生から見ると、大学でどのような研究が行われているのかを知るための良い機会になりますので、会員の皆様もご自分の研究室の現在の研究内容を知るために理工白門祭に来られてはいかがでしょうか？

その際には、中大技術士会のブースにも是非立ち寄っていただくようお願いします。

■ 大学院理工学研究科 都市人間環境学専攻 設立記念式典に中大技術士会から多数参加

2017年5月27日（土）大学院理工学研究科都市人間環境学専攻の設立記念式典が行われ、中大技術士会から14名が参加しました。

これまで都市環境学科には、中大技術士会設立当時から当会の活動へのご理解と多大なご協力を頂いてきました。現在、学部4年生の必須科目「技術者倫理」に講師を派遣しているご縁もあり、設立記念式典にご招待いただきました。

記念式典の第一部講演会は、この6月から公益社団法人土木学会の会長に就任された大石久和氏による「日本人と土木」～総合大学に期待する～という演題で行われました（写真1）。

講演の内容は、技術的な説明というよりも、日本国土の特徴、歴史的背景、高度経済成長から現在に至るまでの経済動向、今後どのように土木、インフラ整備が国策に反映されるべきか俯瞰的に他国のGDPの年次推移など、データを基に定量的に解説されたものです。

本講演には学生や省庁等に勤務する若い卒業生の姿もあり、質疑も活発で大盛況でした。



写真1.大石氏の記念講演の様子

第二部記念パーティーは場所を5号館から3号館9階に移し、大懇親会となりました。教員紹介ののち、来賓挨拶があり、当会の内藤会長もご挨拶されました（写真2.）。歓談の際、中大技術士会参加者で記念撮影をおこないました（写真3.）。



写真2. 内藤会長の祝辞の様子



写真3. 中大技術士会参加者で記念撮影

■ 第13回定時総会

中大技術士会第13回定時総会を下記日程で開催しました。

日 時：2017年6月3日 13:45 開場 14:00 開会

場 所：中央大学理工学部後楽園キャンパス 5236号教室

出 席：37名

内 容：

12:30～13:30 技術士第二次試験ガイダンス

14:00～15:00 通常総会

15:15～16:45 特別講演

17:00～18:30 交流会 （3号館1階の学生食堂にて）

(1) 技術士第二次試験ガイダンス

総会に先立ち、技術士第二次試験対策ガイダンスを行いました。

はじめに民間企業の技術士受験セミナー主催者でもある坂林幹事から、試験の概要、日頃の勉強方法の説明があり、続いて具体的な論文記述対策について山下幹事から説明がありました。詳細は、この後のエッセイにて坂林幹事より内容を紹介していただいております。

現在、技術士第二次試験の対策については、中大技術士会の会員に対して指導可能な技術士の紹介など、受験支援サポート体制を徐々に拡充しております。これには既技術士の皆様のご理解とご協力も欠かせません。是非、ご協力の程、お願いいたします。

(2) 定時総会

通常総会本会では、議事に先立ち、内藤会長より開会の挨拶を頂きました（写真4）。

はじめに明るい報告として、中大が技術士第一次試験の現役学生合格者数で三年連続全国大学別1位になったことをあげられました。

これからは他校に目標とされ追われる立場となるため、引き続き中大技術士会として支援を行い、「技術士の中大」と社会認知を目指していくことを力強く語られました。

また、本校が総合大学である特徴を十分活かし、法曹会や公認会計士会と連携に力を入れること、さらに産学官連携に力を入れることを話されました。その後、司会の中尾幹事が引き続き議長を務め、議事の審議に入りました（写真5）。

次の各議案を審議し、すべての議案が承認されました。



写真4. 内藤会長の挨拶



写真5. 総会会場の様子

議 題

- | | | |
|-------|--------------------|-------|
| 第1号議案 | 平成28年度活動報告(案)に関する件 | 各担当幹事 |
| 第2号議案 | 平成29年度活動計画(案)に関する件 | 各担当幹事 |
| 第3号議案 | 平成28年度収支決算(案)に関する件 | 事務局 |
| 第4号議案 | 平成29年度収支予算(案)に関する件 | 事務局 |
| 第5号議案 | 幹事承認に関する件 | 事務局 |

議案審議の後は、各部会の長による活動の報告、林幹事長の事務局報告があり、最後に出席者全員で記念写真(写真6)を撮影し、総会は無事終了しました。



写真6. 総会出席者の集合写真

(3) 特別講演

総会終了後、特別講演を行いました。

演者、演題、概要は以下の通りです。

演 者 : 中央大学理工学部・情報工学科 田口 東 教授

演 題 : 「東京オリンピック観戦客輸送の余裕を首都圏電車ネットワークは持っているか」

概要(講演会 配布レジュメより)

2020年に開催が予定されている東京オリンピックでは、多数の観戦客が東京首都圏の電車ネットワークを利用する。

招致委員会の立候補ファイルによると、多い日の観戦客は約70万人と予想される。一方、通常は、主に通勤・通学のために約800万人が利用している。この交通は、朝の激しいラッシュ、夜にやや平坦なラッシュがあり、朝の通勤客は郊外から都心に集中し、複数の路線が交わる大規模駅では乗換客の混雑が激しいといった具合に、時間軸・空間軸上とも偏りがある。この上に、観戦客が加わったとき、混雑の激しくなる場所・時間はどこか、緩和策はあるかという点に関心がある。

この点をできるだけ具体的なモデルによって乗客の移動を表現して調べることにする。“具体的”とは、誰でも検証できるように公開に近いデータを用いて、時間分解能を高く、乗客流の粒度を細かく、移動経路を詳細に記述しながら、電車ネットワーク全体の乗客配分を解くことにある。これによって、発生する問題点と課題を明確にして、定量的に対策を評価できると考えている。

駅・電車の混雑と対策

- 競技会場に近い電車区間・最寄り駅では、激しい混雑が起こる。
会場へのアクセス駅の分散と待ち時間の工夫による乗客の平準化
- ・経験を活かす。
- ・混雑予想を周知して理に訴える、経路探索情報を使った誘導
- ・「遠い最寄り駅」から会場までの歩行者天国 新宿→千駄ヶ谷
- ・「讀ってくれた」乗客に対するポイント付加
- ・会場での待ち時間のお楽しみ

- 幹線、大規模な乗換駅では、通常より10%~20%増加することがある。様々な経路の合計であり、通常客の分布と似ている。
- ・この混雑は会場へのアクセス平準化では解消できない。
- ・到着率の増加なので、“渋滞”が始まると混乱は大きい。
- ・混雑初心者への対策は必要である。
- ←通常客の交通量の削減(身も蓋もない?)

35

田口教授は、研究の背景から始まり、前提条件と使用するデータを説明した上で、オリンピックの開催中の東京首都圏の電車ネットワークの時間経過に伴う混雑状況のシミュレーションを解りやすくプレゼンテーションされました。

今回の講演は、オリンピック開催中、首都圏の鉄道を利用する方々にとって、どのように混雑が発生・推移し、影響を受けるのか予測も含め、身近に感じることができました。その甲斐もあって、講演後の質疑応答は懇親会まで続き大変活発でした。



写真 7. 田口教授による講演の様子

(4) 懇親会

17:30 より、会場を 3 号館 1 階食堂に移動し、理工学部長、法曹会、南甲倶楽部など多くの来賓の方々にご出席を頂き、乾杯し懇親会を盛大に挙行了しました。（写真 8）

懇親会の締めには、元アナウンサーの勝山氏によるナレーションで“惜別の唄”を参加者全員で肩を組んで合唱しました（写真 9）。大変盛り上がった懇親会となりました。



写真 8. 乾杯の様子



写真 9. 惜別の歌を合唱

■ 平成 29 年度技術士第一次試験ガイダンス

当会では、中央大学理工学部学科を単位で「技術士ガイダンス」を実施し、学生の皆さんに技術士への第一歩としての技術士第一次試験受験を勧めています。その成果は確実に表れています。おかげさまで現役学生の合格者数は、ここ 3 年連続、大学 1 位です。

本年もガイダンスは、技術士第一次試験の受験願書申込中の 6 月を中心に行いました。また、実際に技術士第一次試験を受験する学生に対し、選択科目のアンケートをとり、中大技術士会として、9 月 30 日に模擬試験を実施する計画です。

ガイダンスの詳細模様は、この後のエッセイにて坂林幹事より、「受験対策が進んでいます」としてご紹介しています。是非、ご覧下さい。

■ 幹事会

本会では概ね月に1度幹事会を行い、各行事の計画や方針などについて話し合っています。
通常、中央大学駿河台記念会館の学員会会議室、または後樂園キャンパスで行っています。
役員、幹事以外の会員の皆様にも参加していただけます。
下記に幹事会の内容を報告します。

○幹事会活動報告

行事名	開催日程	活動概要
平成 29 年度 第 1 回幹事会	4 月 28 日（金） 18：30～20：00	(1) 各部会報告 ・総務部会 ① 第 13 回定時総会提案資料作成について、次回幹事会で最終確認することとした。 ② 中大技術士会に関して「中大新聞」に掲載された内容を確認した。 ③ 現在 1 年生を対象に行っている「技術士オリエンテーション」を、2 年生以降についても行うことが理工事務から提案されたことを報告した。 ④ 各学科の技術士ガイダンス日程が連休明けに理工学部長から提案される。配付資料の仕分け作業を 6 月 7 日行うので多くの協力を幹事に依頼した。 ・企画部会 ① 総会案内を HP にアップした。 ② ホームカミングデー（10/22）、理工白門祭（11/3～11/5）行事紹介があった。 ・広報部会 ① 次回ニュースレターの編集者を確認した。 ② 総会時に元日本放送アナウンサー勝山氏に「惜別の歌」のナレーションをしていただくお願いをし、快諾を得た。 ・大学支援部 ① 「科学技術と倫理」「技術者倫理」各講義は予定通り行われることを確認した。 ② 「科学技術と倫理」講義が 6 月終了した。次年度の講師として、西川幹事、岩瀬幹事に再度お願いする。 ③ 大学技術士連絡協議会の総会に関する報告が行われた。明治大学、東京農工大、青山学院大が加わり、29 大学の組織になった。 (2)CO2 環境対策技術研究 ① 第 28 回研究会を 4 月 20 日、27 名の参加で、日本 CCS 調査(株)で行なわれた。 (3)各学科との協力事項 ① 筏プロジェクト：大きな動きはなかった。 ② 渋谷川再生プロジェクトは、5 月 2 日、人間総合理工学科、石川先生と打合せを行う予定である。 ③ テクノロジー懇談会は、近日中に電気電子情報通信工学科橋本先生と進め方について打合せを行っていく。 ④ ミミズロボットは、前回から動きはない。

行事名	開催日程	活動概要
第2回幹事会	5月15日(月) 18:30～20:00	(1) 各部会報告 ・総務部会 ① 第13回定時総会の議題を確認した。 ② 総会参加者、招待者を確認した。 ③ 一次試験合格者、二次試験合格者の入会状況を確認した。製作した「絆カード」が役立っているものと思われる。 ④ 技術士ガイダンスの日程が提示される予定である。 ⑤ ガイダンスは、6月8日から行うので、幹事各位の協力を要請した。 ・企画部会 ① 総会時の特別講演を確認した。多くの参加者を募るため、HP掲載や過去2年間に参加した一般会員宛にメールなどで参加要請を実施している。 ・広報部会 ① 次回ニュースレターの編集責任者を確認した。 ② 総会時に、元日本放送アナウンサー勝山氏に「惜別の歌」に関するナレーションをしていただく確認をした。 ・大学支援部会 ① 「科学技術と倫理」「技術者倫理」は予定通り行われることを確認した。 ・各学科との協力事項 ① 筏プロジェクトは、この間動きはなかった。 ② 渋谷川再生PTは、5月2日人間総合理工学科、石川先生と打合せを行った。 ③ テクノロジー懇談会は、新年度に入り電気電子情報通信工学科橋本先生と今後の進め方について打合せを行うことを確認した。 ④ ミミズロボットは動作について確認を行っている

■ 部会報告

○大学支援部会

大学支援活動報告

項 目	内 容
「科学技術と倫理」講義	2017年5月30日(火)岩瀬氏、6月6日(火)西川氏が、ゲストスピーカーとして、全学科の1年生を対象に講義を行った。
技術士第二次試験対策	6月3日(土)に実施された総会に合わせて技術士第二次試験の対策セミナーを実施した。
在学生への技術士ガイダンス	2年生～3年生に対して技術士第一次試験の受験ガイダンスを行った。6月12日～6月22日
新入学生への技術士オリエンテーション	新入学の1年生に対して技術士制度の紹介と在学中に一次試験の受験紹介などを行った。6月26,27日

○企画部会
企画部会活動報告

項 目	内 容
中大技術士会 H29 第 1 回講演会 (定時総会時の特別講演 会として開催)	日時：2017 年 6 月 3 日（土）14:30～16:30 会場：後楽園キャンパス 5 号館 5236 教室 講師：中央大学 情報工学科 田口 東 教授 講演：「東京オリンピック観戦客輸送の余裕を首都圏電車ネットワークは持っているか」 参加者：37 名

○広報部会
広報部会活動報告

項 目	内 容
サーバー運営	メーリングリストおよび Web 名簿のメンテナンス実施
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.35 作成、発行
HP 新規掲載	① ニュースレターvol.34 の掲載 ② 第 13 回定時総会開催案内掲載 ③ CO2 環境対策技術研究会第 28 回研究会報告掲載 ④ 第 7 期幹事構成更新 ⑤ 理工学研究科都市人間環境学専攻設立記念パーティーの様子掲載 ⑥ 第 13 回定時総会の様子掲載
その他	① 新規入会者 9 名（技術士 7 名、修習技術者 1 名、準会員 1 名）をメーリングリストに登録
会員の皆様へのお願い	① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org ② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。近況報告、受験体験談、2020 年東京五輪への期待、何でも構いませんので、積極的な応募をお待ちします。 ③ 会員相互の交流を深めることを目的に比較的気楽に投稿できる「 <u>趣味</u> 」を共通テーマとしたリレーエッセイを開始します。依頼がありましたら、躊躇せずに投稿をお願いします。

■ CO2環境対策技術研究会

本研究会は、地球規模の課題となっている CO₂ 対策について勉強しつつ、大学、企業等が持つ CO₂ 対策に関係する技術の相互利用、或いは技術の移転や共同研究を円滑に進めることを目的としています。なお、本研究会は 8 月から翌年の 7 月を 1 期としています。本号では前号以降の活動内容・予定を報告します。

詳しい報告は本会 HP（<http://www.chuo-u-pej.org/>）をご覧ください。

CO2 環境対策技術研究会活動報告

行事名	開催日程	活動概要
第 28 回研究会 研究会 27 名 交流会 17 名	H29 年 4 月 20 日 (木) 15:00~17:00 JR 東京駅八重洲南口 14:30 集合	見学先：日本 CCS (株) 交流会：霧笛屋新大手町店
H28 第 4 回幹事会 出席者 4 名	H29 年 5 月 18 日 (木) 18:30~20:00 中大後楽園校舎 5310 号室	第 28 回研究会の報告 第 29 回研究会の企画 研究会の討議：CO ₂ 吸収材 / CO ₂ 固化
第 29 回研究会 研究会 14 名 交流会 12 名	H29 年 6 月 29 日 (木) 14:00~17:00 東武東上線「ふじみ野」駅 13:30 集合	見学先：石坂産業 (株) 交流会：くぬぎの森交流プラザ

活動計画

以下に今後の本会の活動計画をご案内します。皆様、奮ってご参加ください。

■ 活動計画全般

○幹事会

次回幹事会は、9 月 4 日 (月) 18:30~20:00 駿河台記念館 715 会議室を予定しています。

(主な議題：第一次試験模擬試験対策、ホームカミングデー、理工白門祭など準備)

○大学支援部会

大学支援部会活動計画

行事	日程	内容
「科学技術と倫理」講義	未定	2018 年度も要請があれば、ゲストスピーカーを派遣する予定です。
技術士第一次試験の模擬試験	9 月 30 日 (土)	在学生で技術士第一次試験を受験予定者に対して合格率を高めるために模擬試験を実施する。
「技術者倫理」講義	2017 年 9 月 27 日 (水) ~ 2018 年 1 月 17 日 (水)	2017 年度 (平成 29 年度) も 5 限 5233 号室で講義が行われる予定です。

○企画部会

企画部会活動計画

行事	日程	内容
ホームカミングデー	10 月 22 日 (日) 多摩キャンパス	・ 6 月 14 日に出店申込みを行った。 ・ 今後は 8 月下旬~9 月上旬に連絡があり、諸手続きが行われる予定
理工白門祭	11 月 3 日 (金) ~5 日 (日) 後楽園キャンパス	7 月 1 日・3~5 日に出展者説明会が開催される
中大技術士会 H29 第 2 回講演会	秋の開催を予定	講師：未定

■ CO2環境対策技術研究会

CO2 環境対策技術研究会活動計画

行事名	開催日程	活動概要
H28 第 5 回幹事会	H29 年 7 月 20 日 (木) 18:30~20:00 中大後楽園校舎 5310 号室	第 29 回研究会の報告 平成 28 年度活動報告／会計報告 平成 29 年度活動計画／予算
第 8 回報告会	H29 年 8 月 5 日 (土) 中央大学後楽園校舎 3 号館 3906 室 交流会：風我	村上和夫会長：私たちの暮らしと化学物質 ～マイクロプラスチックと環境～ 大石克嘉副会長：CO2 吸収材の最新の研究動向 大石克嘉副会長：CCS に関する研究の動向

エッセイ

今回は、金川護さんから「男性合唱」、山下三雄さんから「ブラジル珍道中回想録」(Part 1)、坂林和重さんから「受験対策が進んでいます」、と3つのエッセイを寄稿していただきました。

■ 「男声合唱」：金川 護さん S35 年工学部工業化学科卒(上下水道部門、総合技術監理部門)

私は横浜市青葉区に住んでいますが、青葉区には 70 もの合唱団があり、毎年 7 月に開かれる「青葉区コーラスの集い」には 50 以上の団体が出演するなど、音楽活動が盛んなところです。

私は学生時代中大グリークラブで歌っていましたが、卒業後は仕事が忙しく、合唱からは遠ざかっていました。ところが地元の音楽会で突然見知らぬ人から男声合唱をやりませんかと声を掛けられ、また、歌ってみたいとの思いから「メールクワイア AOBA」に 4 年前から入会しました。54 年ぶりの合唱です。「メールクワイア AOBA」は最高年齢 93 歳、平均年齢 76 歳のおじいさん合唱団で、毎週月曜日に地元の自治会館で練習し、2 年に 1 回定期演奏会を開いており、さらに青葉区や緑区の合唱祭や地元の小学校の文化祭に出演しています。団員は現在 23 名ですが皆さん歌うのが楽しく、練習の出席率は毎回ほぼ 100%です。練習曲目は殆ど大学のグリークラブと一緒に本格的に歌っています。



昨年の定期演奏会では男声合唱組曲柳川風俗詩、男声合唱組曲沙羅や九州民謡、オペラ合唱曲、ミッチーミラー合唱曲等 22 曲を歌いました。皆さん学生時代に比べれば高音も出にくく、声量も落ちていると思いますが、柔らかい温かみのある人生経験を積んだなと思える素晴らしい声にまとまっています。指揮と指導は元二期会のテノール歌手、宗孝夫先生です。ボイストレーニングもして頂き、枯れて出なくなった高音も徐々に出るようになり、今ではどんな音でも出せるようになりました。

先生の指導は微に入り細に入りで、1 つの音符にどんな意味があるのか、どう表現するかを説明して下さりますが、楽譜に書ききれないので、100 聞いて 1 位しか実行できません。

学生の頃は大きな声で歌っていましたが、今はピアノ、フォルテの強弱を付けて表現力豊かに歌っています。大抵の大学グリークラブよりも上手に歌えると思います。

定期演奏会では殆ど暗譜です。22 曲を暗譜するのは大変です。私は電車に乗るときは歌詞を持って声を出さずに練習するなどして記憶しました。定期演奏会では拍手とともに「ブラボー」の掛け声を聞くと嬉しくなります。アンケートや友達の評価も感激した。涙が出た等、大変評判が

良く、後で演奏会の CD を聞くと、素晴らしい演奏に自分でも感激します。

私は第 1 テノールで、高い音も何とか歌っていますが、ボイストレーニングでもっと楽に出せるよう頑張っています。家での練習はパソコンで合唱団のホームページを開くと、練習頁があり、曲ごとパートごとのピアノ伴奏が出てきて、それと一緒にカラオケ感覚で歌います。大変便利です。

私は今年 80 歳になります。毎日歌ったり、暗譜に頭を痛めたり、健康にも、ボケ対策にもなり、有意義に過ごしています。また、練習後には駅近くのファミレスで皆とポテトフライを肴に、軽くビール（私はハイボール）を飲むのも楽しみです。そして気分が塞ぎ込んでいるときなどでも、先生の指揮に集中して力いっぱい歌うため、練習後には気分爽快、全ての憂さも飛んで行きます。

定期演奏会の終わった 2、3 週間後、ある音楽会に行ったところ、私の直ぐ傍の 60 代のご婦人が、私をチラチラ見ていてから、意を決したように声をかけてきました。「メールクワイア AOBA」の方ですね。ハイと言ったら、「素晴らしかったです。感激しました。」と言ってくれました。良く私の顔が分かったなと思いながら、なんだかスターになった気分がとても嬉しかったことを付け加えます。死ぬまで男声合唱を続けたいと思っています。



写真 合唱の様子（前列左端が金川）

■ ブラジル珍道中回想録（Part 1）：山下 三雄さん

S48 年 理工学部土木工学科卒（建設部門、総合技術監理部門）

この度中大技術士会の末席を汚させていただくことになりました、山下三雄と申します。私は理工学部土木工学科を昭和 48 年 3 月に卒業し、（株）青木建設に 21 年間、その後建設コンサルタント・不動産管理会社等に勤務し、最後は環境省職員としてフクシマの復興のためお国への最後のご奉公に勤めてまいりました。

私がゼネコン勤務時代の 30 歳のとき、社命でブラジルのウォーターフロントのリゾートプロジェクトのフィジビリティスタディ（F/S）に行ったときのこと。一緒にいたアーキテクトの方から「外国語を習得する早道はガールフレンドと仲良くなることだ。」との暖かいアドバイスをいただき、その後の私の人生におきましてこれを忠実に守ってまいりました。



サンパウロの centro（ダウンタウン）でお声をかけたガールフレンドと次のデートの約束をしたとき、私はポルトガル語が全くできなかったのですが、

私 「Domingo,Nove horas,Cine Niteroi.」（日曜日、9 時、ニテロイ映画館）

彼女「Tude bem.」（OK） （当時私は花の独身でした。念のため。）

さて日曜日の朝心うきうきと足音も軽く 9 時少し前に映画館の前で彼女を待ったのですが、30 分くらい過ぎてても一向に姿を見せません。ブラジルでは時間を守らないのが常識で、こんなことがありました。私がフィジビリティスタディでシビル・エンジニアとして担当した主な業務は、物的特性（地形・地質・植生・インフラストラクチャー等）、施設計画（造成・道路・供給処理施設計画等）、事業費概算（土木工事）、類似物件調査等でありましたが、植生については全くの門外漢ですので専門の現地のコンサルタント会社に委託しました。ところが納期に近くなっても全く音沙汰ないので担当者と呼んだところ、セスナを飛ばす許可がなかなか軍から得られなかったこと（当時ブラジルは軍事政権でした）。さらに悪天候が重なったことなど理路整然とニコニコと言いつつを述べられたのにはいささか閉口しました。日本では全く考えられないことでした。

閑話休題。私もかなり我慢強い方ですが、少し頭に血が上り下宿先に帰りました。しかし冷静になってあることに気が付きました。私は何か肝心なことを言わなかったのではないか？さて、ここでつまらない問題です。それはいったい何でしょうか？

（答え）実はご存知のように Nove horas は一日に 2 回あります。すなわち Nove horas の後に「de manha」（朝の）か「de noite」（夜の）を言うべきでありました。私は疑心悪鬼で夜の 9 時少し前に再び映画館の前に行きましたら、何と彼女が待っていたではないですか。

日本の常識では夜の 9 時から映画を見に行くなんてちょっと考えられませんし、また下心が見え透いていますが、ブラジルの飲み屋さんは午前 0 時を過ぎてにぎやかになります。彼女にとっての Nove horas は「Nove horas de noite」が常識だったようです。彼女と屈託なく大笑いとなり大いに盛り上がりました。その後についてはご想像にお任せします。

（中大技術士会員としては少し品のない話でしたが、ご精読ありがとうございました。）



写真 1. 見学したサンバショーから



写真 2. コルコバードの丘からの眺め

巨大なキリスト像で有名な「コルコバードの丘」から撮った「ポン・ジ・アスーカル（砂糖の山）」と大西洋・グアナバラ湾

ブラジル珍道中回想録（Part2）は 次号ニュースレターにつづく

■ 「受験対策が進んでいます」：坂林 和重さん

S56 年度卒・理工学研究科・電気工学専攻（電気電子部門）

例年 6 月には、次の 3 件について実施しています。

- ① 技術士第二次試験受験者に対する受験対策セミナー
- ② 在学生（2 年生～3 年生）へ技術士第一次試験の受験ガイダンス
- ③ 新入生（1 年生）へ技術士試験制度の紹介（オリエンテーション）

1. 二次試験の受験対策セミナー

6 月 3 日（土）に中大技術士会の総会が開催されました。その総会に合わせて毎年実施している技術士第二次試験の受験ガイダンスを実施しました。

実施場所は、後樂園校舎の 5236 教室です。12:30～13:30 の 1 時間です。講師は、私（坂林）が担当しました（写真 1）。



写真 1. 第二次試験受験対策セミナーの様子

この受験ガイダンスは、第一次試験の合格者で 4 年後に第二次試験を受験予定の学生と、まさに今年受験予定の人に最短合格して戴きたいと実施しています。参加費は、無料です。

毎年 20 名前後の人が参加されて、今年も多くの人が参加されました。話す内容は、最近の出題傾向や採点に関するものなどです。また、合格ノウハウとしてどのような勉強をすれば良いかも説明しています。

受講された人の数名が、毎年合格されて『合格しました』の連絡を戴いています。

今年参加できなかった人は、来年の参加をお待ちしています。

2. 技術士第一次試験の受験ガイダンス

今年も第一次試験の申込の時期がやってきました。今年の申込は、6 月 22 日（木）～7 月 3 日（月）までです。これに合わせて中大技術士会では、大学の要請によって受験ガイダンスを実施しています（写真 2）。その甲斐もあって平成 26 年度・平成 27 年度・平成 28 年度の 3 年連続で中央大学は、大学別合格者人数で国公立私立大学の全国第 1 位となりました。今年も多く先生の協力で下記の日程（表 1）で実施しました。

表 1. 2017 年度 技術士ガイダンス 日程一覧

日付	曜日	時 限	学科名	科目名	教室番号	対象 学年	担当教員
6 月 12 日	月	2	情報	数理基礎	5136	2	今井 桂子先生
6 月 12 日	月	3	人間	水環境システム工学	2841	2	山村 寛先生
6 月 12 日	月	3	精密	材料加工学Ⅰ	5235	2	鈴木 宏明先生
6 月 12 日	月	5	電気	回路基礎及演習 2	5335	2	田村 裕先生
6 月 14 日	水	1	経営	メゾット・エンジニアリ ング	5233	2	高桑 宗右衛門先生
		3	物理	科学英語	6325	3	中村 真 先生
6 月 15 日	木	1	経営	生産管理	5335	3	高桑 宗右衛門先生
6 月 16 日	金	2	応化	物理化学 B	5335	2	新藤 斎先生
6 月 16 日	金	3	生命	地球環境・生態学	6418	2	諏訪 裕一先生
6 月 21 日	水	3 ～ 5	生命	生理・生化学実験	学生 実験室	3	小池 裕幸先生
6 月 22 日	木	2	都市	空間デザイン演習	2215・ 2218	3	檜山 和男先生
6 月 22 日	木	3	都市	専門演習 1	5137	3	檜山 和男先生

参加した中大技術士会メンバーは、延べ 55 人、学生の一言スピーチは、延べ 20 人でした。全学科とも学生の受けはよくなっています。

また、学科によっては先生が一次試験問題を授業に取り入れ積極的に受験をすすめていると伺っています。さらに技術士試験の過去問題を授業時間で例題として活用しているとのこと。先生方の行動にも昨年になく変化が生まれていました。

学生のスピーチも同じ年代の先輩として、「受験してみたい」気持ちをくすぐる話し方が印象的でした（写真3）。そのためか、昨日までに「模擬試験申込みアンケート」（はがき）が、46名（もう少し多いかも）でした。模擬試験受験が増えれば、本試験受験が増え、合格者も増える、このようになることが予想されます。

ガイダンスにご支援をいただいた皆様ご苦労様でした。3分間スピーチに協力いただいた学生の皆様にも感謝いたします。



写真 2.ガイダンスの様子



写真 3.学生による合格体験談

3.技術士試験制度の紹介（オリエンテーション）

6月26日(月)と6月27日(火)に今年新入学の1年生へ技術士試験制度の紹介（写真4）を行いました。目的は、技術士試験を知っていただき受験要望があれば、受験し合格して戴くことで社会に出た時の活躍のキッカケにさせていただこうというものです。

6月26日(月)は、約120人程度の参加でした。6月27日(火)は、約140人程度の参加でした（表2）。昨年に比べて参加者が、2割程度増加しました。また、1年生のうちから技術士第二次試験に挑戦したいと話す人もいて将来に期待が持てました。



写真 4. 1年生向けオリエンテーションの様子

表 2. 2017 年度 1 年生向け技術士オリエンテーション日程

月日	曜	限	時間	学科	対象
6月26日	月	1	9:00～	数、応化、経営工、情報、人間	一年生全員
6月27日	火	1	9:00～	物理、都市環、精密、電気、生命	一年生全員

■ これから技術士を目指す方、技術士第一次試験合格者の方、学生の皆さんへ

あなたが将来活躍する技術者となるため、その手段の選択肢として技術士と接してみよう！

中大技術士会は、中央大学を卒業した技術士を中心に組織化された中央大学の学会の登録団体です。〇〇技術士会と“技術士会”と名の付く団体は、中大技術士会のように大学の傘下のもの、あるいは企業グループ、県や地域など、それぞれ目的を持ち多数存在します。そのため、複数所属している人も多くいます。

その中で、技術士・第一次試験合格者相当であれば誰でも入会でき、最大組織であるものが公益社団法人 日本技術士会です。日本技術士会は、現在会員数 18,000 名あまり（うち一次試験合格者、JABEE 認定者は 3,000 名程度）総合技術監理部門を除く 20 の技術部門の部会、県支部、活動委員会や登録グループなど、目的別のコミュニティを多く持ち、活動もさかんです。

今回、技術士に興味のある学生の方、第一次試験に合格された修習技術者の方、女性技術者の方に向けて、公益社団法人日本技術士会の委員会、グループをご紹介します。

日本技術士会は、試験実施機関でもあるため、中大技術士会のように模擬試験の実施、ガイダンス等の直接の受験対策指導はありません。それでも、皆さんにご紹介しお薦めするのは、次のような理由もあるからです。

技術士第一次試験は、択一のペーパー試験のみで受験可能です。しかし、技術士第二次試験は、択一試験に加え、①論文形式の筆記試験、②面接形式の口頭試験、さらに③通常 7 年の実務経験が必要です。日本技術士会の部会、委員会、グループは、すでに二次試験を合格して技術士登録した技術士以外に、これから技術士を目指す修習技術者も数多く参加しています。

彼らはイベントや勉強会を通じて活躍する技術士を目指す同志となり、②③で必要なコミュニケーション能力、プレゼン能力、マネージメント能力を切磋琢磨し高めているのです。また、モチベーションの維持にも役立っており、多くの方が早い期間で技術士になっています。

イベントの中には、第一次試験を合格していなくても学生であれば参加できるものもあります。興味のある方は、是非これらの委員会・グループのイベントに参加し、技術士と接してください。

“技術士”という資格は、誰かに本来取られるものではありません。目的を持ち必要な人が自ら行動して“獲り”に行くものです。また技術士のネットワークは、あなたが技術者人生を歩む中で大きな武器として役立つでしょう。その世界に入るか否かはあなた次第です。

以下にリンクをご紹介します。ご参照ください。

1. 修習技術者研修会/発表研究会 主催：修習技術者支援委員会

http://www.engineer.or.jp/c_categories/index04033.html

＊一次試験合格者向け

2. 若手会員からのメッセージ：青年技術士交流委員会

https://www.engineer.or.jp/c_topics/003/003041.html

3. フェイスブックページ：青年技術士交流委員会

<https://www.facebook.com/youngengineerjp/>

＊学生向けイベントあり

4. 技術サロンのご案内：主催男女共同参画推進委員

http://www.engineer.or.jp/c_cmt/danijo/categories/index575605.html

＊対 象：技術者及び技術士を目指す女子学生・女性社会人（既技術士の参加不可）

ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。 ⇒ toiawase@chuo-u-pej.org

2017 年 7 月号 中大技術士会 広報部会 発行

中大技術士会ホームページ： <http://www.chuo-u-pej.org/>